



初めて覚えたHip Hopは「RUN DMC」だった。足にスーパースター、全身アディをまとったヤツらは何となく怖かった。そして今、RIP SLYMEやKICK THE CAN CREW、ヤツらは何となく身近に感じている。

ギリギリ02年に京都に現れたロボ宙・タッカー・JUNK FOOD・NATURAL STYLE...に混ざって、ヤツらはウルトラゴミマグネティックMCsってユニットの中に隠れていた。キョトンとした笑顔のフロントマンは今日も元気。JHip Hopの黎明期、突如ボンキッキーズに登場して「Hip Hopって気さくじゃん」と教えてくれた彼。彼なくしてJHip Hopの今はなかったろう。ANIやSINCOを一目見に集まった人人人...、京都が関西Hip Hopフリークスの中心地になった図が、そこにあった。

A.「名前?じゃあだ名でムラキ...」。何だそれ本名っばいぞ。ってな彼はヨシコさんとご同道。「スチャよりJUNK FOOD目当てです」 B.「カップルって訳じゃ...」とケイゴさん。「何でよっ!?」とツッコむレイコさん。そりゃごもつとも。来月ご結婚ですと。それをカップルって言うんだっ C. Davidさんは「イギリス出身。先生やってマス。三重県熊野から来ました。熊野サイコ〜」と言ってたはず...。翻訳が編集部なんで... D.今夜はこういう人ばっかだと思ってた。大阪から来たバンチョ君はじめセミプロのラッパー陣。ラップとは?「寄せ鍋っ!」ハイ。良くできました E. カタカナだと似たお名前。マユミさん(右)とアユミさんは長〜いファン。「ブギーバックは高校の時」「あ、私は中学...」ちょっと年の差フレンズ F.スチャ看板のイベントでも以外とフツ〜ナルックスの山岡映子さん(右)と奥田和世さんは共にアパレル勤務。「朝までハジけるで!」組 G.丸山寛子さんは伊丹から。こう見えても「今日は全員スゴいでしょ?大阪でも見れないですよっ」とかなりお好き。はぐれたお友達とは再会できました? H.今宵のオーガナイザー 藤本哲雄さん。「4月初旬にイベント名と同名のガンバ大阪サポーターズ・ソング出します! 2回目は4月25日。ほぼ同じメンツでやります!」

